

二二一五番

さ夜よふけて しぐれな降ふりそ 秋萩あきはぎの 本葉もとばの  
黄葉もみぢ 散ちらまく惜をしも

二二一六番

故郷ふるさとの 初はつもみち葉ばを 手折たをり持もち 今日けふそ我わが  
来こし 見みぬ人ひとのため

二二一七番

君きみが家いへの 黄葉もみぢは早はやく 散ちりにけり しぐれの雨あめ  
に 濡ぬれにけらしも

二二一八番

一年ひととせに 二度行ふたたびゆかぬ 秋山あきやまを 心こころに飽あかず 過す  
ぐしつるかも